

町立診療所新所長に榊原医師が就任

町民の皆さんの生命や健康を身近で守る診療所。新所長に抱負や展望などについてお聞きしました。



榊原 政裕 (さかきばら まさひろ)

昭和 24 年生まれ。十勝郡浦幌町出身。昭和 59 年から平成 10 年 6 月まで浦幌町立診療所の経営委託を受託され医療業務を実施、長野県小布施町の新生病院を経て、平成 24 年 4 月 1 日から浦幌町立診療所長に就任。

14 年ぶりに浦幌へ

町民の皆さんはよくご存知かと思いますが、榊原先生は平成 10 年 6 月まで町立診療所で診療をされていきました。そして約 14 年ぶりに浦幌町に帰って来られました。

『長野県の新生病院に約 14 年務めていました。そこにいた時に「浦幌に帰って来ませんか？」とお誘いがあったんですけどね。いずれは戻ってこようとは思っていました。後はタイミングだけだったのかな？(笑)。この度は家族みんなが浦幌に来ました。』

これからの医療展開は『どういった医療を展開するか…、必要とされていることをしなければなら

ないなと思っています。「自分ではあれがしたい、これがしたい」ということがまだ無いんですよ。とりあえず来て、それから考えるところが私にはあるんですよね。出来ない事もたくさんあるし、正直言って半人前なところもありますから。診療所には専門性のあるスタッフもいますから、その方たちに助けをもらいながら、半人前がチームの力で一人前になれば良いのかなと思います。だから、私一人の力ではなく、浦幌町立診療所のスタッフ全員で浦幌町の医療を展開していきたい。地元でやるべきこと、地元でやらなければならないこと、地元の医

療機関として望まれることはやっていきたいと思っています。あとは患者さんが本音を出せる医療現場を作りたい。「ここが痛い」だとか「ここが具合悪い」だとか、患者さんが素直に表現できるように。だから友達風、近所のおじさん風で患者さんに接することができたなら良いなと思っています。その方が患者さんの実像により近づけるのかなと。診療室で調子が良くななくても「調子いい」と言ってみたり、「こんなこと言ったら先生に怒られる」とか、そんな気遣い無しに本音が出せる医療の現場にしていきたいと思っています。

昔を考えると、やっぱり看護師さんをはじめ、色々なスタッフと一緒に仕事をしてきたなと思います。今回、皆さんは私を当てにしているかと思うけど、私は皆さんを当てにしているからね！(笑)。まあ、みんなと一緒に進めて行きたいと思っています。』

市山先生ありがとうございました！

町立診療所・整形外科の診療業務を引き受けていた市山廣樹先生が、3月29日の診療を最後に離任されました。平成18年11月から約5年半、町民の健康管理はもとより、地域医療に大きく貢献していただきました。

市山先生ありがとうございました！これからの益々のご活躍をご祈念申し上げます。



～ 菅原所長の任期が満了～

平成 21 年 4 月から町立診療所の所長を務めていただきました菅原先生が 3 月 31 日をもって 3 年間の任期が満了しました。町立診療所長として町民の生命に関わる地域医療に日夜、献身的に携わっていただいたことに感謝申し上げます。

菅原先生には、引き続き毎月第二・第四水曜日の午後の診療を担当していただきます。

先生、今後ともよろしくお祈りいたします！

